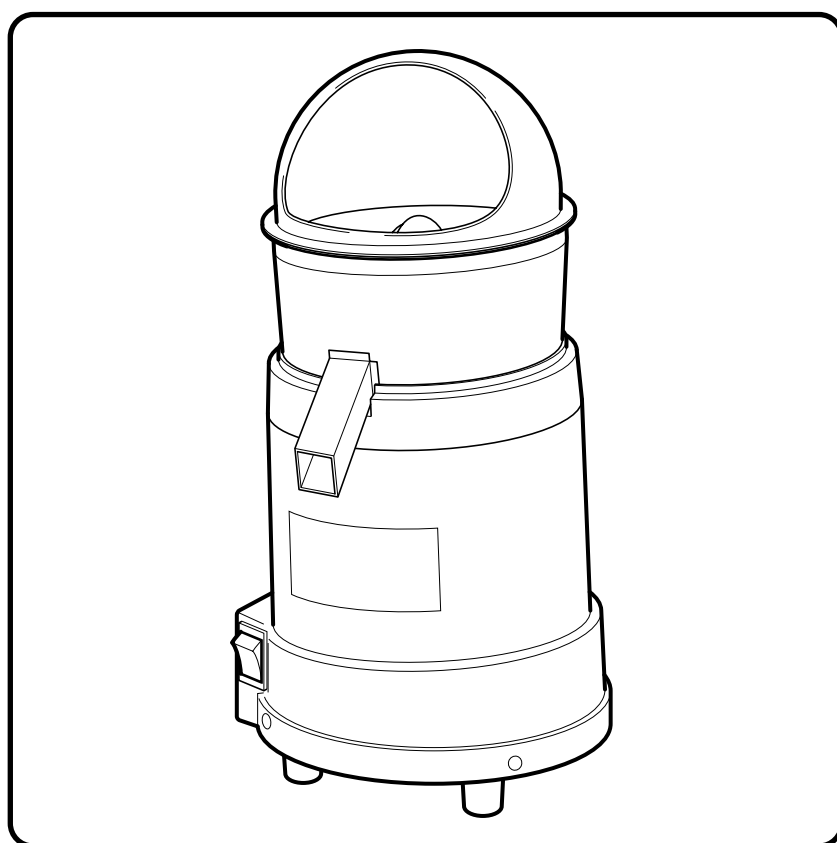
シトラスジューサー
ＪＣ４０００　（業務用）

取扱説明書

●このたびは、当社のシトラスジューサー（ＪＣ４０００）をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございました。

●この商品を安全に正しくご使用いただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。

●お読みになったあとは、必ずいつもお手元においてご使用ください。

●保証書は、この取扱説明書の最終ページに記載されております。
必ず「お買い上げ日・お買上げ店名」等の記入をお確かめください。

保証書付

もくじ

本製品をお使いになる前に

■安全上のご注意

● ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
● ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。

表示と意味は次のようになっています。

【注意喚起シンボルとシグナル表示の例】

⚠警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
⚠注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害※の発生が想定される内容を示します。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

【図記号の例】

感電注意	△は、注意(警告を含む)を示します。 具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「感電注意」を示します。
接触禁止	⃠は、禁止(してはいけないこと)を示します。 具体的な禁止内容は、⃠の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「直接手を触れないこと」を示します。
プラグを抜く	●は、行動の命令(強制)を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「差し込みプラグをコンセントから抜く」を示します。

⚠警告

●据付け時の警告

専門業者

● 据え付けは、お買上げ店または専門業者に依頼すること
ご自分で据え付けをされ不備があると、感電、火災の原因になります。

アース工事

● アース工事を必ずおこなうこと
アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。(電気工事士によるD種接地工事が必要ですので、電気工事店に依頼してください。)

専用電源

● 本機の電源は、専用の漏電遮断器付サーキットブレーカーもしくは、それと同等の設備のある専用コンセントを使用すること
電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用、およびタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。

電気工事

● 電気工事は、「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」に従って施工し、必ず専用回路を使用すること
電源回路不良、容量不足や施工不備があると、感電、火災の原因になることがあります。

屋外禁止

● 屋外で使用しないこと
雨水のかかる場所で使用されますと、漏電、感電の原因になります。

湿気禁止

● 湿気の多い所や、水のかかり易い場所に据え付けないこと
絶縁低下から漏電、感電の原因になります。

禁止

● 電源コードを傷つけないこと
加工したり、引っ張ったり、たばねたり、また重いものを乗せたり、挟み込んだりすると、電源コードが破損し、感電、火災の原因になります。

●操作時の警告

連絡

● 漏電遮断器またはサーキットブレーカーが「OFF(切)」に作動した場合には、お買上げ店に連絡すること
無理にレバーを「ON(入)」にすると、感電や火災の原因になります。

接触禁止

● 機械内部の電気装置や配線にさわらないこと
感電する恐れがあります。

濡手禁止

● 濡れた手で電源プラグなどの電気部品に触れたり、本体の電源スイッチを操作しないこと
感電の原因になることがあります。

専用電源切

● 異常時は電源プラグを抜くか、本機専用電源を｢ＯＦＦ(切)｣にして、すぐにお買上げ店へ連絡すること
異常のまま使用を続けると感電、火災の原因になります。

ガス栓閉

● お使いのガス器具がある場合、ガス器具などからガスが漏れていたら、ガスの元栓を閉めて、窓を開けて換気すること
電源プラグを抜いたりしますと、引火爆発し危険です。

点検清掃

● 電源プラグは、刃および刃の取付面にほこりが付着していないか定期的に確認し、ガタのないように刃の根元まで確実に差し込むこと
ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、感電、火災の原因になります。

水掛け禁止

● 本体に直接水をかけないこと
ショート、感電、錆、故障の原因になります。

分解禁止

● 修理技術者以外の人は絶対に分解をしたり、修理はおこなわないこと
異常動作をしてケガをしたり、修理に不備があると感電、火災などの原因になります。

改造禁止

● 改造は絶対におこなわないこと
改造をされると、液漏れや感電、火災の原因になります。

●移設・廃棄時の警告

専門業者

● 移設は専門業者か、お買上げ店に連絡すること
据え付け不備があると、感電、火災の原因になります。

● 廃棄は専門業者か、お買上げ店に依頼すること
放置しますと、幼児などがケガをする原因になります。

⚠注意

●据付け時の注意

● 丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること
据え付けに不備があると転倒、落下によるケガなどの原因になることがあります。

●操作時の注意

● 電源プラグを抜くときは、電源コードを持って抜かないこと
必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因になることがあります。

● 熱器具を乗せたり、熱器具を周囲に置いたりしないこと
熱でプラスチックが溶けたりして危険です。

● 可燃性のスプレーを近くで使用したり、可燃物を置かないこと
発火の原因になることがあります。

● 洗浄・清掃のときや点検のときは、必ず電源スイッチを「ＯＦＦ」(切)にして機械を止め、電源プラグも抜くこと
感電したりケガの原因になることがあります。

● 容器カバー、回転ヘッド、ストレーナー、容器など処理物が接する部品は、使用後必ず洗浄・清掃すること
洗浄しないと、雑菌が繁殖し、健康障害の原因になることがあります。

● 洗剤を使ったあとは、洗剤成分を十分に洗い流すこと
洗剤成分が残っていると、健康障害の原因になることがあります。

プラグを抜く

● 一週間以上ご使用にならない場合は、安全のため電源スイッチを「OFF」(切)にして機械を止め、電源プラグも抜くこと
電源プラグやコンセント部にほこりが溜まって発熱、発火の原因になることがあります。

動作確認

● 漏電遮断器は月に1回動作確認をすること
漏電遮断器を故障のまま使用すると、漏電のとき動作せず、感電の原因になることがあります。

●転売や譲渡するときの注意

テープ止め

● このお使いになっている商品を他に売ったり、譲渡されるときには、新しく所有者となる方が安全な正しい使いかたを知るために、この取扱説明書を商品本体の目立つ所にテープ止めすること

仕様

品　名		シトラスジューサー
型　式		JC4000
外形寸法		幅 245・奥行 250・高さ 485㎜ （突起物を含む　奥行 285㎜）
電　源		100V 50/60Hz
電　流		5.0A（30分定格）
消費電力		300W
回転数		1,500r.p.m.〈無負荷時〉
材質	本　体	プラスチック
	容　器	ステンレス
	容器カバー	プラスチック
	回転ヘッド	プラスチック
	ストレーナー	ステンレス
電源コード		長さ：1.8 m
質　量		9.0kg

※上記の仕様は、品質向上のため予告なしに変更されることがありますのでご了承ください。

●梱包内容一覧

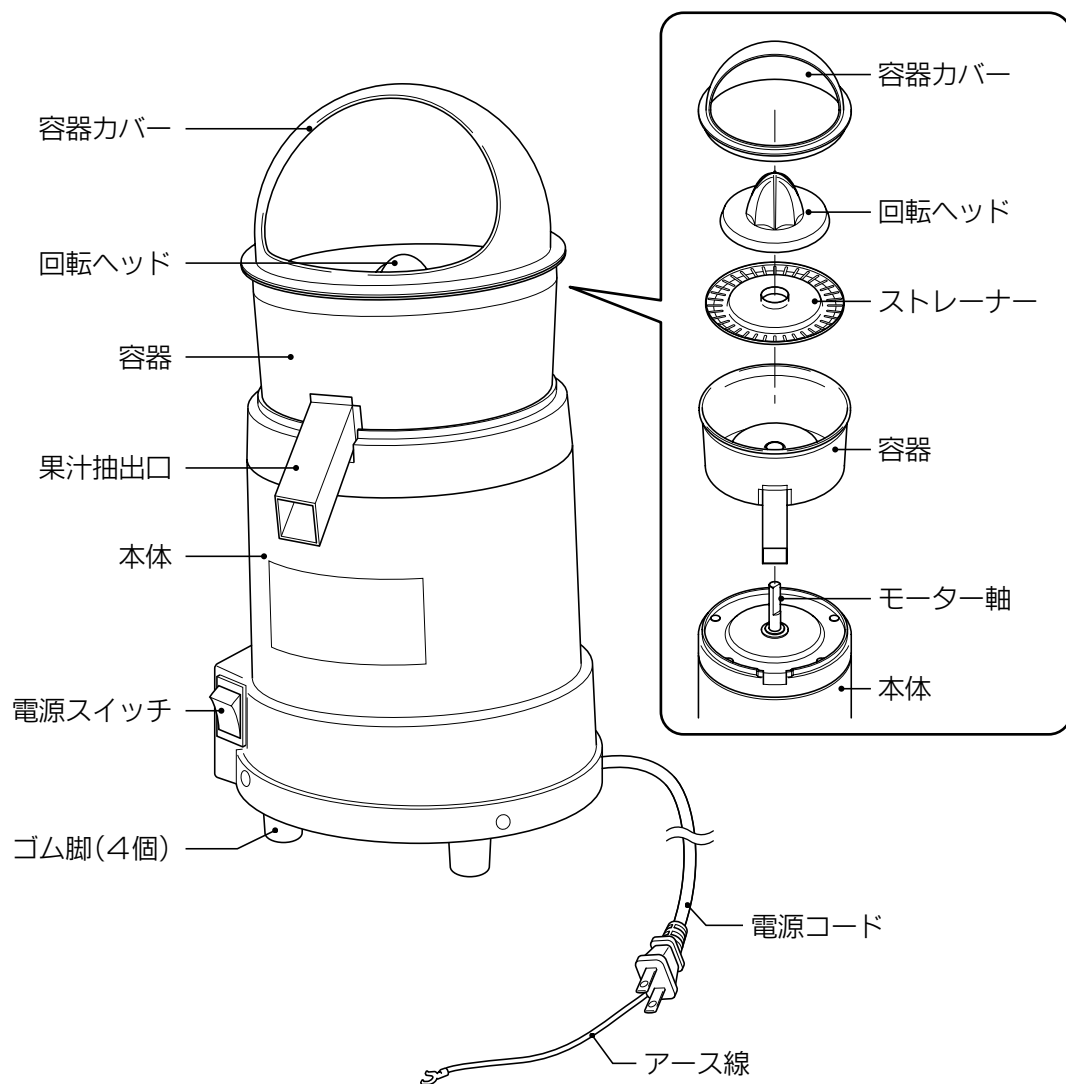
パッケージには、次のものが入っています。足りない場合は、お買上げ店へ連絡してください。

内容物	個数
本体(モーター部)	1個
容器	1個
容器カバー	1個
ストレーナー	1個
回転ヘッド　大	1個
回転ヘッド　小	1個
取扱説明書(本書、保証書付)	1冊

各部の名称

本機は、柑橘類果実より果汁を絞り出す機械です。

容器カバー
回転ヘッド
容器
果汁抽出口
本体
電源スイッチ
ゴム脚（4個）
電源コード
アース線

容器カバー
回転ヘッド
ストレーナー
容器
モーター軸
本体

回転ヘッド（付属品）の種類

大	小
オレンジ・グレープフルーツ用	レモン用

操作の概要

据付け場所を確認してください

本機を据え付ける場所を確認してください。
据付け時の警告と注意については、「安全上のご注意」(1ページ)および「据付けについて」(9ページ)を参照してください。

各部品を洗浄してください

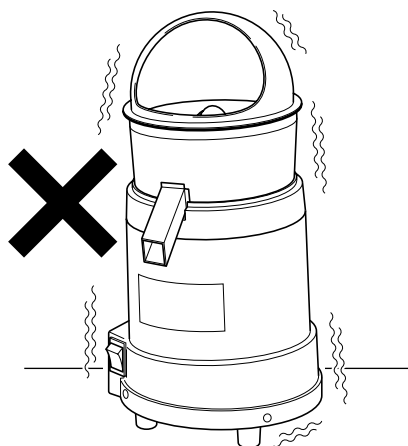
本機をご使用になる前に、容器カバー、回転ヘッド、ストレーナー、容器を洗浄してください。
洗浄方法については、「基本的な洗浄」(12ページ)を参照してください。

本機を組み立て、使用してください

洗浄後、本機を組み立て、使用してください。
操作方法については、「操作のしかた」(10ページ)を参照してください。

据付けについて

●作業に支障がないように、十分なスペースを確保してください。

●丈夫で平らな場所に水平になるように据え付けてください。
据え付けに不備があると、転倒、落下によるケガなどの原因になることがあります。
※本機は、容器内の果汁が残らず取り出せるように、果汁抽出側(前方)に約5°傾斜をつけた構造になっています。

●電源スイッチが正面にくるように据え付けてください。

●水などがかからない、または流れてこないところに据え付けてください。
本体と電源コードに水がかかりますと、漏電、感電の原因になります。

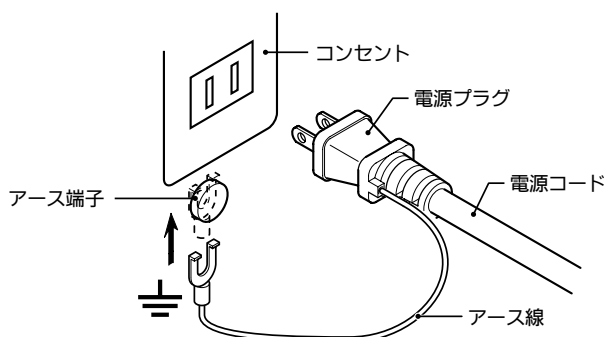
●据え付ける場所が、水などで濡れていないことを確認してください。
モーターが高速回転したとき、本体の底部から吸い上げ、モーターの絶縁不良と回転不良の原因になります。

●本機の電源は、専用の漏電遮断器付サーキットブレーカーもしくは、それと同等の設備のある専用コンセントを使用してください。

●本機は、コンセントに電源コードを接続した場合、コードに余裕があるように据え付けてください。(電源コードの長さ：１.８m)

●アースは必ず取ってください。
アースは電気工事士によるD種接地工事が必要ですので、電気工事店に依頼してください。
ガス管、水道管、電話のアース線、避雷針などには危険ですから絶対にアース線を接続しないでください。
アース線は、電源プラグより出ている緑色の線です。

●アース線をアース端子に接続してください。

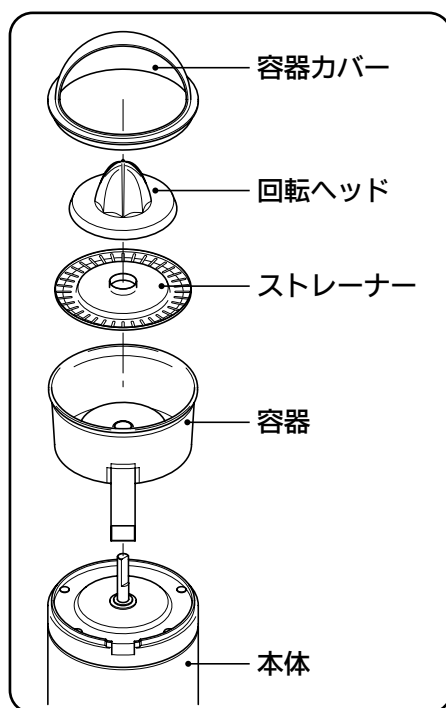
●ご使用の際は、本機専用のコンセントに電源コードのプラグを差し込んでください。

操作のしかた

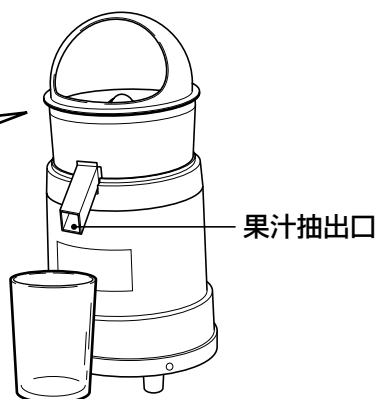
お願い

本機は、柑橘類果肉より果汁を絞り出す機械です。
柑橘類果肉の果汁を絞り出す用途以外には使用しないでください。

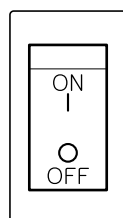
1 容器、ストレーナー、回転ヘッド、容器カバーをきれいに洗浄してください。

➔「基本的な洗浄」(12ページ)参照

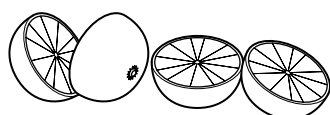
2 本体を組み立て、果汁抽出口の下に果汁を受ける容器をセットしてください。

回転ヘッドは、処理する柑橘類に合ったものを選び、モーター軸に正しくセットしてください。

果汁を受ける容器は、お客様にてご用意ください。

3 電源スイッチを「ON」にしてください。

回転ヘッドが回転します。

⚠注意

濡手禁止

濡れた手で電源スイッチを操作しないでください。
感電の原因になります。

4 柑橘類果物を処理してください。

処理する柑橘類果物を横半分に切り、回転ヘッドにかぶせるように押しつけ、果汁を絞ってください。

絞った後の外皮は、フルーツシャーベットやアイスクリームの容器としてご利用できます。

お願い

回転ヘッドは必要以上の力で押さえないでください。
モーターに異常負荷がかかりますと、プロテクターが作動してモーターが停止します。
モーターが停止したときは、電源スイッチを切って、原因を取り除きます。
５分程度休ませたあと、電源スイッチを入れ、本体底の復帰ボタン(赤色)を押してください。
運転を再開します。
運転を再開しない場合は、お買上げ店へ連絡してください。

お願い

・使用中は、本体の底部に水が浸入しないように注意してください。
モーターが回転するとき、床面に水が溜まっていますと水を吸い上げ、モーターの絶縁不良と回転不良の原因になりますのでご注意ください。

5 処理が終わりましたら、電源スイッチを「ＯＦＦ」(切)にして回転を止め、電源プラグを抜いてください。

6 容器カバー、回転ヘッド、ストレーナー、容器を洗浄してください。

各部品に付着した処理物をきれいに取り除いてください。

➔「基本的な洗浄」(12ページ)参照

洗浄と清掃

いつも安全で清潔にご使用いただくため、また本機を長持ちさせるために、次のような場合は、下記の手順に従って、必ず「基本的な洗浄」をおこなってください。

●初めて機械を使用する場合。
●食材の処理後は速やかに毎回。
●１時間以上使用間隔が空く場合。
●３０分間使用(繰り返し操作する場合も含む)の度に。

お願い

・洗浄後、保管される場合は、各部品にアルコール除菌剤をスプレーしてください。
・次亜塩素酸ソーダを含む除菌剤や電解酸性水は、部品の錆、および腐食の原因になりますので使用しないでください。

■「基本的な洗浄」

「基本的な洗浄」は、
●高品質の食品を作る前提条件です。
●雑菌の発生を予防します。
●機械の寿命を延ばします。

Ⅰ．**予備洗浄**(容器から各部品を分解して、水または温水で調理物のカスを洗い流す。)
↓
Ⅱ．**除菌洗浄**(除菌洗浄剤を使用して洗剤する。)
↓
Ⅲ．**乾燥とアルコール除菌**(各部品を乾燥させ、アルコール除菌剤をスプレーして除菌消毒する。)

洗浄を怠ったり、不行き届きですと、処理物のカスが固着し、回転が不良になったり、機械の寿命が著しく短くなります。頻繁に容器を洗浄することにより、機械を長持ちさせることができます。

お願い

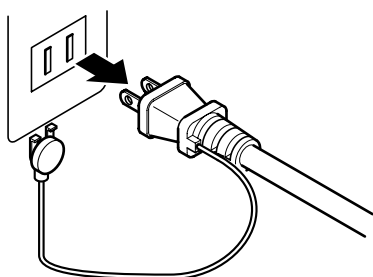
本機を洗浄するときは、食器洗浄機は、ご使用にならないでください。機械の故障の原因になります。

■「基本的な洗浄」の手順

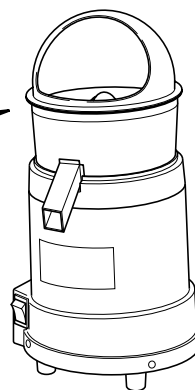
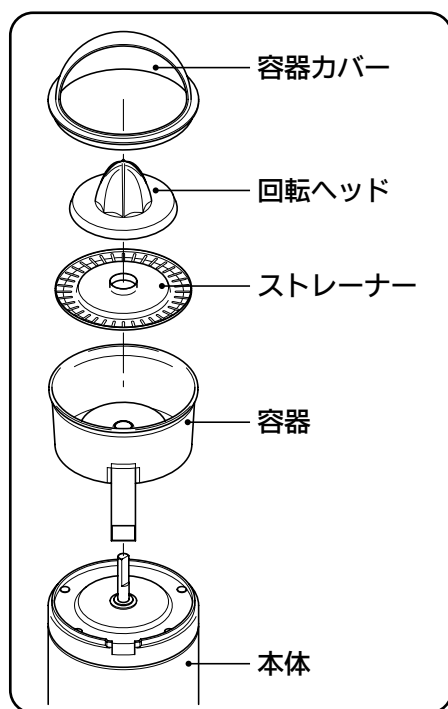
Ⅰ．予備洗浄

容器、ストレーナー、回転ヘッド、容器カバーを洗浄します。

1 電源スイッチを「ＯＦＦ」(切)にして、電源プラグを抜いてください。

⚠注意

プラグを抜く

必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因になることがあります。

2 本体から容器カバー、回転ヘッド、ストレーナー、容器を外してください。

3 本体から外した部品をすすぎ洗いしてください。

水または温水を流しながらすすぎ洗いをして、残っている処理物のカスを流しとってください。

⚠注意

高温禁止

洗浄のときに温水を使う場合は、必ず湯温を４５℃以下にしてください。４５℃を超えるお湯を使うと、やけどや故障の原因になることがあります。

お願い

・容器カバー、回転ヘッドは、高温洗浄すると変形したり、変色する恐れがあります。食器洗浄機などは、使用せずにぬるま湯で洗浄してください。

Ⅱ．除菌洗浄

⚠注意

除菌洗浄

洗浄が不行き届きの場合、調理物のカスが腐敗したり雑菌が繁殖して健康障害の原因になります。

1 定められた使用濃度分の除菌洗浄剤を入れたぬるま湯の中で、布かスポンジできれいに洗浄してください。

お願い

・除菌洗浄では、無泡性の除菌洗浄剤を使用し、入れすぎないようにしてください。濃度が濃すぎると、金属やプラスチックなどの部品を損傷します。
・気泡性、強力な浸食性、有毒性のある洗浄剤は絶対に使用しないでください。
・やむを得ず、塩素系の洗剤や電解酸性水などを使用して洗浄する場合は、十分なすすぎ洗いの後、すぐに水気をふき取って完全に乾燥させてください。

⚠注意

禁止

・硬いタワシなどでこすらないでください。キズがつく恐れがあります。

2 洗浄後は、水でよくすすぎ洗いをして洗剤成分を十分に洗い流してください。

Ⅲ. 乾燥とアルコール除菌

1 清潔な布で各部品の水気をふき取り、空気乾燥させてください。

お願い

洗浄後、水分がついたまま放置しますと金属部分が錆びる可能性がありますので、すぐに清潔な布で水気をふき取り、完全に空気乾燥させてください。

2 乾燥した各部品にアルコール除菌剤をスプレーしてください。

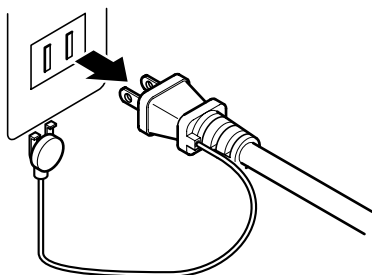
お願い

除菌洗浄剤、アルコール除菌剤の使用については、各々の定める使用濃度および、使用上の注意事項に従ってください。

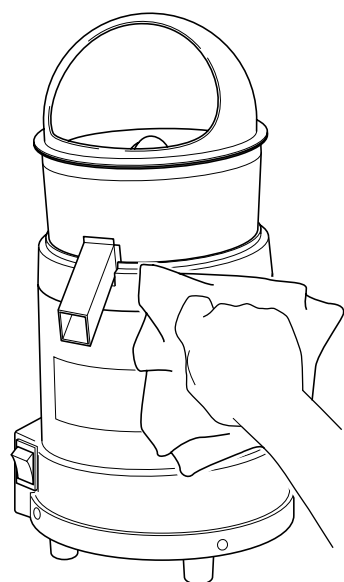
3 本体に容器、ストレーナー、回転ヘッド、容器カバーをセットしてください。

■本体の清掃

1 電源プラグを抜いてください。

⚠注意

プラグを抜く

必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因になることがあります。

2 柔らかい布で本体をふいてください。

⚠注意

禁止

本体に直接水をかけないでください。ショート、感電、錆、故障の原因になります。

3 汚れがひどいときは、中性洗剤を入れたぬるま湯でふいた後、洗剤成分が残らないように水でふき取ってください。

お願い

クレンザー、酸類、ベンジン、ガソリン、シンナーなどは使用しないでください。キズが付いたり、破損の原因になります。

4 アルコール除菌剤をスプレーしてください。

■電源プラグの点検(年に1～2回の点検)

●電源プラグの点検

次の項目を点検してください。

●電源プラグが、専用のコンセントに差し込まれていますか?
他の機器との共用を中止し、専用のコンセントを用意してください。

●電源プラグや電源コードに異常な発熱や破損、重いものが乗ったり、挟み込まれていませんか?
異常の場合は、すぐにお買上げ店へ修理を依頼してください。

●電源プラグの刃と刃の取り付け面、コンセントにほこりがついていませんか?
ほこりがついている場合は清掃して取り払ってください。

●アース線の点検

アース線が切れたり接続部が緩んでいませんか?
異常の場合は電気工事業者に修理を依頼してください。

故障の診断と手当

故障かなと思われ修理を依頼する前に、次の項目を確認してください。
症状が改善されないときや、「処置の方法」の欄に「お買上げ店へ連絡してください。」と記載されている場合は、本機の電源スイッチを「ＯＦＦ」(切)にして、機械を止め電源プラグも抜き、早急にお買上げ店まで連絡してください。

※ご連絡の場合は、本機の型式名･機番･お買上げ日･故障状況(できるだけ詳しく)をお知らせください。

症　状	診　断	手　当
電源スイッチを入れてもモーターが回らない	電源プラグが抜けていませんか?	抜けているときは、コンセントに差し込んでください。
	停電ではありませんか?	通電するのを待ってください。
	漏電遮断器が切れていませんか?	「ＯＦＦ(切)」になっている場合は、お買上げ店へ連絡してください。
	モーター保護装置が動作している可能性があります。	モーターが冷めるまで、電源プラグを抜いてしばらく放置してください。そのあと、本体底の復帰ボタン(赤色)を押してください。
	電源スイッチの故障の可能性があります。	お買上げ店へ連絡してください。
本体から異常音が発生する	丈夫な所に設置していますか?	水平で平らな場所、丈夫な所に据え付けてください。
	据え付けが悪く、がたついていませんか?	
	回転ヘッド不良の可能性があります。	お買上げ店へ連絡してください。
モーターから異常音がする 回転振動が大きい	モーター不良の可能性があります。	お買上げ店へ連絡してください。
	モーター軸受部の不良の可能性があります。	
電源スイッチを「ＯＦＦ」(切)にしても回転し続ける	電源スイッチの故障の可能性があります。	お買上げ店へ連絡してください。
漏電遮断器が切れる	電気的な故障の可能性があります。	お買上げ店に連絡してください。レバーが「ＯＦＦ(切)」になっていると漏電している可能性があります。無理にレバーを「ＯＮ(入)」にすると、感電や火災の原因になります。
電源コードやプラグが異常に熱い	-	お買上げ店へ連絡してください。

症　状	診　断	手　当
コードを折り曲げると通電したり、しなかったりする	-	お買上げ店へ連絡してください。
モーターの回転が不規則であったり、止まったり、遅かったりする	-	お買上げ店へ連絡してください。

株式会社エフ・エム・アイ

本　社：〒538-0044 大阪市鶴見区放出東3丁目11番31号 Tel. 06(6969)9393
東京支店：〒105-0013 東京都港区浜松町2丁目8番14号 Tel. 03(3436)9470

営業所
札　幌：〒003-0002 札幌市白石区東札幌二条5丁目4番1号 Tel. 011(813)8651
仙　台：〒983-0034 仙台市宮城野区扇町2丁目1番9号 Tel. 022(238)5711
名古屋：〒454-0822 名古屋市中川区四女子町2丁目46番地 Tel. 052(361)7891
広　島：〒731-0102 広島市安佐南区川内6丁目43番9号 Tel. 082(876)1855
福　岡：〒812-0839 福岡市博多区那珂1丁目30番21号 Tel. 092(481)2931

サービスステーション
盛　岡：〒020-0124 盛岡市厨川4丁目14番5号 Tel. 019(648)5390
金　沢：〒921-8027 金沢市神田1丁目23番11号 Tel. 076(243)7810
四　国：〒768-0012 香川県観音寺市植田町155番地1 Tel. 0875(57)5161
鹿児島：〒890-0073 鹿児島市宇宿1丁目15番8号 Tel. 099(263)8281

東日本修理センター：〒130-0011 東京都墨田区石原4丁目35番7号 Tel. 03(5819)1280

ホームページ http://www.fmi.co.jp/

PD